

薬連ハイライト

令和3年度第2回全国薬剤師フォーラム 「つなごう!!薬剤師議員」開催

令和3年9月26日(日)、標記フォーラムが「紹介者から支援者へ輪を広げる～10から70へ～」のテーマでウェブ開催された。47都道府県薬剤師連盟の幹事長がZoomで集結した。座長は橋本日本薬剤師連盟常任総務を務めた。

まず初めに山本日本薬剤師連盟会長、藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員から挨拶された後、神谷まさゆき副会長より決意表明がされた。

次に、担当役員より広報と名簿に関する報告と説明が行われ、続いて、紹介者名簿達成率の高い6県の幹事長から「如何に紹介者名簿を集めたか。」が発表された。それぞれ6県細かい点で手法は違うが、各県に合わせたしっかりとしたシステムを構築し、

更に「どぶ板」で各薬局を訪問してフォローをする、この繰り返しをこまめに行っている県が先行している印象を受けた。その後「10から70へ」のテーマでディスカッションと質疑応答が行われた。

最後に岩本幹事長から総評が行われた後、神谷まさゆき副会長の謝辞があり丹羽常任総務の熱のこもったコールで終了した。



もとゆき便り

衆議院選挙を終えて

参議院自由民主党政策審議会議長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之



岸田新内閣のもとで初めてとなる衆議院議員選挙は、10月31日に投開票が行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染症により人々の生活や経済に大きな影響を与えた中での選挙となり、厳しい戦いも予想されていましたが、結果的には、自民単独で絶対安定多数を確保し、安定した政権運営を引き続き担えることとなりました。ご支援頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。

自民党は今回も様々な分野での政策を掲げて選挙戦に臨みました。このうち薬剤師・薬局に関しては、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局を普及して、国民が安心して医薬品を使用できる環境を整えること。チーム医療における薬剤師業務の拡充と医療機関における薬剤師確保の取組を推進すること。薬価制度に関して、特許期間中の新薬の薬価水準が維持されるよう、新薬のイノベーション評価のあり方を検討すること。後発医薬品等の安定供給への取組と中間年改定のあり方を検討すること等が記されています。

特別国会は11月10日に召集され、第2次岸田内閣が発足しました。新政府においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大防止への対策を徹底するとともに、政権与党として自民党が掲げた政策を確実に実行していくことが、次の参議院選挙の結果にも繋がるものと思います。

オレンジ日記

選挙を終えて

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



第49回衆議院議員選挙が行われました。全国比例区の私は、党本部の依頼で多くの選挙区の応援に入らせて頂きました。応援に当たって都道府県薬剤師連盟のお力添えも頂いたおかげで私自身の活動範囲も広げることができました。このことにまず御礼を申し上げます。

今回の衆議院選挙を通して皆様にお会いし、表情を見て、話し、気持ちを通わせることで政策実現への熱意が更に増しました。

自民党は、新型コロナウイルス感染症から国民の皆様への命と暮らしを守り抜くことを重点公約としており、そこに「かかりつけ薬剤師・薬局の普及」という言葉が盛り込まれました。政権を担う自民党の政権公約にこうした記載がなされたことは恐らく初めてのことでないかと思いました。

医療崩壊を起こさないために、薬剤師が自らの専門性を発揮し医療継続に繋げていくことを政府与党が正面から受け止めてくれたと感じました。

また、国民の皆様への不安を解消するために、何よりも国産ワクチンと経口治療薬の1日も早い実現が求められていることも体いっばいに受け止めました。

年末に向けて、来年度の予算編成に向けた診療報酬・調剤報酬の話し合いがありますので、今まで以上に高い緊張感を持って議論に参加いたします。